

緑や樹木に関する記事 21-117

富士 岩本山公園 夜のライトアップ

桜の見頃を迎えた富士市の「岩本山公園」で30日、夜桜のライトアップが始まった。園内には満開になったソメイヨシノなど10品種約400本の桜が広がっている。ライトアップは4月3日まで行われるそうだ。

樹齢300年超の威容 静岡

静岡市葵区柘沢で推定樹齢300年以上と言われる大しだれ桜が見頃を迎えた。淡い桃色の花が、周囲の山々や茶畑の緑と美しいコントラストを見せている。鎌倉時代の高僧「聖一国師」生家の米沢家の一角に根を下ろす高さ20メートル、枝張り17メートルほどの木で来週には散り始めそうだ。

(令和4年3月31日 静岡新聞 朝刊)

静岡でサクラ満開

静岡地方気象台は30日、静岡市駿河台の同気象台でソメイヨシノの満開が観測されたと発表した。例年より3日早く、昨年より2日遅いそうだ。

(令和4年3月30日 静岡新聞 夕刊)

緑や樹木に関する記事 21-116

多肉植物28年振りに開花 伊東

伊東市の「伊豆シャボテン動物公園」で、メキシコ原産の多肉植物「ダシリリオン・ロンギシマム」が28年振りに開花した。成長が遅く開花に至るまで大きく育つ例は少なく珍しいという。同園では1973年に栽培を始め、花を付けた1株は高さ3メートル以上に成長した。先端に大人の小指よりもずっと小さな黄色い花を密集して咲かせており、今後1～2週間程度は見られるとのことだ。

(令和4年3月30日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-115

三嶋大社 桜見頃で春一番

三島市の「三嶋大社」の境内に並ぶ桜が見頃を迎えている。ミシマザクラやソメイヨシノ、しだれ桜がほぼ満開となり参拝者が春の訪れを満喫している。境内には15種類、200本の桜が植えられており、見頃は4月上旬ごろまで続く見通しとのこと。

小山城と桜 現想的 吉田町

吉田町片岡の「能満寺山公園」で28日夜、桜のライトアップが始まった。明かりに照らされたソメイヨシノと小山城の織りなす幻想的な光景が、多くの人々を魅了している。園内にはソメイヨシノなどの37本の桜が植えられており、ライトアップは桜の開花状況に合わせ4月上旬まで実施されているそうだ。

(令和4年3月29日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-114

水芭蕉が開花 静岡

静岡市葵区の「高山市民の森」の高山の池でミズバショウの開花が始まり、訪れたハイカーを喜ばせている。同池のミズバショウは湿地帯に自生するサトイモ科の多年草で、1995年に地元JAの女性部が群馬県片品村から株を譲り受け植栽したのが始まりだそうだ。

(令和4年3月28日 静岡新聞 朝刊)

シダレザクラ 花のシャワー 浜松

浜松市浜北区の「万葉の森公園」でシダレザクラが見頃を迎えている。曲水池近くにたたずむシダレザクラは樹齢推定約50年、樹高約8メートルで公園の春の名物になっている。

菊川「桜づつみ」マルシェ開催

菊川市観光協会の「菊川桜まつり」が始まり、27日には文化会館アエル西側の菊川河川敷「桜づつみ」で物販イベントの桜マルシェがあった。公園にはソメイヨシノを中心に150本ほどが植えられ、見頃を迎えている。

(令和4年3月28日 中日新聞 朝刊)

しゃくし菜 はるうららか 静岡

静岡市葵区新間の「中勘助文学記念館」で、しゃくし菜の黄色い花が咲き始めた。しゃくし菜はアブラナ科の1年草で、小説家中勘助が静養のため滞在した同記念館内にある「杓子庵(しゃくしあん)」の名前の由来で、現在も庵前の畑で育てられている。来月初旬まで花は咲いているそうだ。

(令和4年3月27日 静岡新聞 朝刊)

しだれ桜 国宝彩る 静岡

静岡市駿河区根古屋の「久能山東照宮」でしだれ桜が25日までに満開になった。しだれ桜は社務所前と、国宝に指定されている御社殿前に計2本植えられている。雨の影響が無ければ4月初旬までは楽しめそうだ。

樹齢100年以上のハクモクレン満開 静岡

静岡市葵区玉川地区で25日、樹齢100年以上だというハクモクレンが満開となった。同地区落合の白鳥さんの祖先が、家を新築した105年前に植えたものだそうだ。

(令和4年3月26日 静岡新聞 朝刊)

春風チューリップ 吉田

大井川河口にある「県営吉田公園(吉田町)」で、恒例の「チューリップまつり」が開かれている。園内にはチューリップ花壇には34品種、計約6万本が咲く。今年は開花が寒さのため遅れめで、見頃はこれからだそうだ。

(令和4年3月26日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-113

春告げるカタクリの花 島田

約1万株のカタクリが自生する島田市金谷富士見町の「牧之原公園」で、今年もカタクリが紅紫色のかれんな花を咲かせた。同公園の東側斜面約2千平方メートルに広がる自生地は市の天然記念物に指定されている。3月26日から4月3日まで一般公開するそうだ。

山中に鮮やかなミツマタ 静岡市葵区

静岡市の中山間地域「オクシズ」で、春を告げるミツマタの花が見頃を迎えた。ミツマタは中国原産のジンチョウゲ科の落葉性低木で、鮮やかな黄色い花がハイカーらを喜ばしている。

(令和4年3月25日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-112

斜面埋め尽くすスイセン見頃 浜松

浜松市西区の「はままつフラワーパーク」でスイセンが見頃を迎え、春風にそよぐ黄色い花が来園者の目を楽しませている。同園西側の梅園の斜面には、約8万球のスイセンの球根が植えられているが、現在は黄色い花を咲かせる品種「フォーチュン」が一面に咲き黄色いカーペットのように斜面が埋め尽くされている。これからは遅咲きの品種が咲き始め、見頃は4月上旬ごろまで続くそうだ。

(令和4年3月24日 静岡新聞 朝刊)

樹齢100年 しだれ桜見頃 三島

三島市中田町の「佐野美術館」の庭園で、樹齢100年を超えるしだれ桜が見頃を迎えている。今年の開花はほぼ例年並みで、3月末ごろまで見頃が続くそうだ。

あでやかハナモモ見頃 磐田

磐田市敷地の「敷地里公園」に咲くハナモモが見頃を迎えている。赤やピンク、白色のあでやかな花が散策コースを彩り、来園者を楽しませている。花は3月下旬まで楽しめるそうだ。

(令和4年3月23日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-111

静岡市で桜開花宣言

静岡地方気象台は21日、静岡市で桜(ソメイヨシノ)が開花したと発表した。昨年より1日遅く、平年に比べ3日早い。満開は1週間から10日後と見込んでいるようだ。

(令和4年3月22日 静岡新聞 朝刊)

天竜 ハナモモが満開

19日、浜松市天竜区の道の駅「天竜相津花桃の里」で、濃いピンクや白色のハナモモが満開を迎えた。15年ほど前に地元住民が協力して植えたのがきっかけで年々本数を増やし、現在は350本ほどが植えられている。今年は寒い日が続いたため開花が例年より2週間ほど遅くなったが、色づきは上々だそうだ。見頃は今月末までとのこと。

城ヶ崎桜70本見頃 伊東

伊東市の「伊豆ぐらんぱる公園」で早咲きのご当地桜「城ヶ崎桜」が見頃を迎えている。城ヶ崎桜は大島桜と寒緋桜の自然交配種とされ、花の中心部の濃い赤みが特徴で、園内では2004年に植栽し、約70本が植えられている。今年は例年並みのペースで開花しているようだ。

(令和4年3月20日 中日新聞 朝刊)

梅の香り 浜松

浜松市北区引佐町の観光植物園「花の奥山高原」で、約280本の梅が見頃を迎えている。同園は昇り竜をイメージした滝の周囲に植わる80本のしだれ梅が名物。花は来週の初めまで楽しめるそうだ。

(令和4年3月19日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-110

ハクモクレンようやく開花 浜松

二月の寒さの影響で開花が遅れていたハクモクレンの花が、浜松市内で咲き始めた。浜松市北区三方ヶ原町から都田町にかけての通り沿いに街路樹として植えられ、場所によっては10センチほどの大輪を枝先に咲かせている。

(令和4年3月17日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-109

花フェスタ19日開幕 浜松

浜名湖周辺の花の名所15箇所ですべて春の花巡りを楽しめる「浜名湖フェスタ2022」が19日から6月12日まで、浜松市西区を中心に開かれる。1300本の桜や50万球のチューリップが見頃の「浜松フラワーパーク」と30万本のネモフィラの地上絵のある「浜名湖ガーデンパーク」がメイン会場となる。浜松・湖西両市の飲食店やホテルなど47施設で使える割引クーポンも発行されるそうだ。

(令和4年3月15日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-108

県内ほかほか 春色花盛り 浜松

県内は12日、高気圧に覆われ、晴れて南からの暖かい空気が流れ込んだ影響で河津桜と菜の花の名所として地元で知られる浜松市西区大山町の花川沿いでは、多くの家族連れが訪れていた。

(令和4年3月13日 静岡新聞 朝刊)

河津桜見頃 富士

富士市南松野の中河原川沿いに桜並木が10日までに見頃を迎えた。中河原川沿いの約450メートルの区間には50本の桜が連なっている。今年は例年より少し遅れて3月初旬に開花し、来週までが見頃だそうだ。

(令和4年3月12日 静岡新聞 朝刊)

桜トンネル華麗 磐田

磐田市鎌田の「兎山公園」に、桜トンネルが出来上がり、家族連れやカップルが花見を楽しんでいる。トンネルは磐田ライオンズクラブが植えた30本の河津桜がつくりだす30メートルほどの空間となっている。

(令和4年3月12日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-107

気持ちほころぶしだれ梅 掛川

掛川市下西郷の「龍尾神社」で、隣接する花庭園のしだれ梅が見頃を迎え、来園者の目を楽しませている。広さ1万平方メートルの花庭園には梅の木が約300本植えられている。見頃は来週いっぱい続く見込みだそうだ。

(令和4年3月11日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-106

紅白しだれ梅香り甘く 掛川

掛川市下西郷の「龍尾神社」でしだれ梅が見頃を迎えた。園内には約300本の梅が植えられている。現在は七部咲きで昨年より10日ほど遅く、見頃は3月中旬まで続きそうだ。

防災願う河津桜 函南

函南町の柿沢川沿いに並ぶ410本の河津桜が見頃を迎え、13日まで「かんなみの桜まつり」が開かれている。桜並木は榎木橋～駒形橋の約1キロの区間に、1988年の台風で氾濫した柿沢川の改修工事に合わせ植樹されたそうだ。

(令和4年3月9日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-105

柿沢川沿い河津桜見頃 函南

函南町の柿沢川沿いに並ぶ410本の河津桜が見頃を迎えている。桜並木は榎木橋から駒形橋まで約1キロあり、現在は五分咲きで最盛期は週明けごろになる見込みだそうだ。

(令和4年3月6日 静岡新聞 朝刊)

やすらぎ春の色 浜松

浜松市西区大山町の花川堤防では、例年より2週間ほど遅れて河津桜が咲き始めた。全体では二、三分咲きだが、日当たりの良い桜台ショッピングセンター近くでは七分咲きの場所もあるそうだ。

(令和4年3月6日 中日新聞 朝刊)

しだれ桜見頃 浜松

浜松市西区の「大草山昇竜しだれ梅園」で、長さ約20メートルの「しだれ梅のトンネル」が見頃を迎えた。梅園には10品種約350本のしだれ梅が植えられており、例年より1週間ほど遅れていたが、今週に入ってから一気に咲き始めたそうだ。

(令和4年3月5日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-104

「霊峰」「市街」「菜の花」の三重奏 静岡市駿河区

静岡市内を一望できる高台に位置する静岡市駿河区向敷地の「丸山花木園」の展望広場で菜の花が咲き、訪れた人たちは冠雪した富士山と市街地の眺望、鮮やかな黄色い花の「三重奏」を楽しんでいる。

(令和4年3月2日 静岡新聞 朝刊)

早咲き桜 お待たせしました 御前崎市

御前崎市下朝比奈の「あらさわふる里公園」で、早咲きの桜が花開き、満開の梅とともに来園者を迎えている。桜は園内の散策路沿いに180本ほど並び、五分咲きとなっている。見頃は例年より半月ほど遅く、今月半ばまで楽しめそうだ。

(令和4年3月4日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-103

河津桜 ようやく見頃

河津町の河津川沿いで早咲きとして知られる「河津桜」の開花が進んでいる。今年は開花が遅れ、両岸4キロ、800本余りの桜並木は「河津桜まつり」最終日の28日になってようやくピンク色に染まった。

現在は河口付近と上流部が見頃で、中流部が四～五部咲きの状況。花の見頃は3月上旬まで続きそうだ。

(令和4年3月1日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-102

河津桜 三分咲き 御前崎

御前崎市比木東原地区の福田沢川沿いに地元住民が整備した散策路「散歩道福田沢」の桜並木で、河津桜の開花が進んでいる。日当たりの良い場所では三分咲きになっており、好天が続けば1週間ほどで見頃を迎えるそう。

(令和4年2月28日 中日新聞 朝刊)

沼津中心部 河津桜彩る

沼津市中心部の上本通り沿いで、地元住民が管理する河津桜が見頃を迎えている。地元の団体が9年前から桜の植栽を始め、現在は3～4メートルの木が40本並んでいる。見頃は3月中旬までだそう。

(令和4年2月27日 静岡新聞 朝刊)

春近し 梅の花盛り 牧之原

牧之原市片浜の「相良梅園」で梅の花が見頃を迎えている。1.5ヘクタールの園内には、白加賀梅、南高梅といった白梅を中心に約20品種、700本が植えられ、なだらかな山あいの散策路を歩きながら鑑賞できる。花は3月上旬ごろまで楽しめそう。

(令和4年2月27日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-101

河津桜と菜の花共演 南伊豆町

南伊豆町の青野川沿いで、約800本の河津桜の並木が見頃を迎えている。河川敷に植えられた菜の花も黄色く色づき、競うように咲き誇っている。青野川沿いの両岸2.1キロ続く桜並木は現在7～8分咲きで、「みなみの桜の花まつり」は3月10日まで開かれている。

河津桜の原木が見頃 河津町

28日まで河津まつりが開かれている河津町で、河津桜の原木が見頃を迎えている。町役場近くの民家にある原木は高さ、幹幅共に約10メートルで、桜並木より開花は例年早いそう。

見頃の梅と霊峰の競演 富士市

桜や梅の名所として知られる富士市の「岩本山公園」では、見頃を迎えた梅と霊峰の競演を多くのカメラマンが撮影に訪れている。園内には梅園を中心に約30品種約300本の梅があり、2月初旬から様々な品種の梅が順次開花している。今年は3月中旬まで楽しめるそうだ。

(令和4年2月24日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-100

ツバキ咲き春を感じ 浜松

浜松市浜北区の「万葉の森公園」では、春を呼ぶツバキの花がようやく咲き始めた。同園のツバキ園では、約200品種400本のツバキが植えられているが、今年は寒波などの天気の影響を受けて例年より開花が遅いそうだ。

(令和4年2月20日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-99

紅白の梅の花 沼津

沼津市戸田の「新田梅林公園」で梅の花が見頃を迎え、紅白の花が咲き誇っている。約1ヘクタールの敷地に南高や八重寒紅などの約10品種が200本ほどが植えられている。現在5分咲き程度で、開花は例年より1週間程度遅れているそうだ。

(令和4年2月18日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-98

黄色いじゅうたん広がる 沼津

沼津市井田で地域の有志が植えた菜の花が見頃を迎えている。約2ヘクタールの田んぼに黄色いじゅうたんを敷き詰めたような光景が広がっている。昨年10月に蒔いた種が1月頃から開花したそうだ。

(令和4年2月8日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-97

寒桜が見頃 静岡

静岡市清水区興津で6日、見頃を迎えた早咲きの「薄寒桜」を楽しむ恒例行事「興津宿寒ざくらまつり」が始まった。同区の「清水清見潟公園」を中心に約480本の寒桜が楽しめる。まつりは12日までだそうだ

(令和4年2月7日 静岡新聞 朝刊)

紅白の梅の香り 菊川

菊川市下平川の国重要文化財「黒田家住宅」で6日、梅まつりが始まった。通常は非公開の庭園を3月6日まで無料開放する。庭園には寒紅梅、白加賀といった紅白の梅が160本ほど植えられ、一部は四部咲き程度となっているそうだ。

(令和4年2月7日 中日新聞 朝刊)

大知波桜ライトアップ 湖西

早咲きのさくらとして知られる「大知波(おおちば)桜」が湖西市大知波の「大神山八幡宮」で見頃を迎えている。6日からは午後5時半～10時にライトアップされ、夜も楽しめるそうだ。花は今月中旬ごろまで見られるそうだ。

(令和2年2月6日 中日新聞 朝刊)

梅の花が見頃 浜松

浜松市南区の「市緑化推進センター」では園内に植えられた2本の赤い梅の木が見頃を迎え来園者を楽しませている。今年は例年並みの時期に開花し、1週間ほど前から白い梅も咲き始めた。今月中旬まで花は楽しめるだそうだ。

(令和2年4月5日 中日新聞 朝刊)

伊豆・土肥桜が満開

伊豆市土肥地区では早咲きで知られる土肥桜が満開を迎えている。地区内に植えられた計約400本の桜はピンク色の花を咲かせて、一足早い春の到来を告げている。見頃は今月上旬ごろまでだそうだ。

(令和4年2月4日 静岡新聞 夕刊)

緑や樹木に関する記事 21-96

相良梅園明日開園 牧之原市

牧之原市片浜の「相良梅園」が5日、今季の営業を開始する。1.5ヘクタールほどの園内には約20品種、約700本の梅の木が植えられているが、年末年始の冷え込みにより、白梅の生育は例年より1週間程度遅れているそうだ。開園期間は3月上旬までの予定

(令和4年2月4日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-95

桜と菜の花まつり開幕 南伊豆町

南伊豆町で1日、「第24回みなみの桜と菜の花まつり」が開幕した。青野川沿いの河津桜は多くがつぼみだが、同町湊の菜の花畑は既に菜の花が見頃を迎え、黄色いじゅうたんのよう的一面を埋め尽くしている。菜の花の見頃は3月中旬までだそうだ。

(令和4年2月2日 静岡新聞 朝刊)

河津桜 静かなお披露目 河津町

伊豆半島に春の訪れを告げる「第32回河津桜まつり」が1日、2年ぶりに開幕した。年末年始の冷え込みで河津川沿いの約850本の桜並木は一部を除き多くがつぼみの状態の中、行事も縮小し営業を控える出店も多く静かなスタートとなった。花の見頃は2月下旬ごろを見込んでいるようだ。

(令和4年2月1日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-94

「桜まつり縮小開催」河津 南伊豆

新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が適用される中、河津町の「河津桜まつり」と南伊豆町の「みなみの桜と菜の花まつり」の行事を縮小した開催が決まった。

県伊豆農業研究センターによると、今年の河津桜は昨年より1週間程度開花が遅れる見込みで河津町、南伊豆町とも開花は2月中旬から本格的に進み、見頃は2月下旬ごろに迎えるようだ。

(令和4年1月28日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-93

薄寒桜に誘われて 清水

静岡市清水区の「清水清見潟公園」では薄寒桜が咲き始め。冬空の下で薄ピンク色の花が周辺に彩りを添えている。約480本の薄寒桜は、1912年に米国ワシントン市に贈るために育てられた桜の子孫で、日米友好の象徴として地元住民らが育てている。興津生涯学習交流館周辺では2月6日から12日まで「興津宿寒ざくらまつり」が開催される予定だそうだ。

(令和4年1月26日 静岡新聞 朝刊)

早咲き土肥桜満開 伊豆市

早咲きの土肥桜が満開を迎えている。土肥桜は寒緋桜系の雑種で、あたま桜などとともに日本一早咲きの桜と言われている。濃いピンク色の花には蜜を求めてメジロが集まっているようだ。

(令和4年1月25日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-92

土肥桜見頃

伊豆市土肥で、早咲きの「土肥桜」が見頃を迎えている。2月6日まで「土肥桜まつり」が松原公園で開かれており、約400本が一足早く春の色に染まっている。土肥桜は寒緋桜系の雑種で河津桜よりも1月ほど早く咲き、あたま桜とともに「日本一早咲きの桜」といわれている。濃いピンク色の紅種と淡い白紅色の白種があり、紅種は「伊豆土肥」として登録されている。見頃は10日頃までだそうだ。

(令和4年1月24日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-91

一足早い春の訪れ 久能山東照宮

静岡市駿河区根古屋の「久能山東照宮」で、境内の寒桜が薄紅色のかわいらしい花を次々と咲かせ、寒風の中を訪れた参拝客に一足早い春の訪れを感じさせている。本殿に向かう参道脇にある寒桜は、昨年12月中旬からほころび始め、19日現在三分咲きで昨年に比べ10日ほど遅い開花状況とのこと。来月中旬には見頃を迎えるそうだ。

(令和4年1月20日 静岡新聞 朝刊)

菜の花 沼津で見頃

沼津市平沼の「浮島ひまわりらんど」で、菜の花が見頃を迎えている。約3500平方メートルの休耕田に咲いた鮮やかな黄色の花が、訪れた人たちを楽しませている。地元地区の保存会が昨年10月上旬にまいた種が開花したもので、花は2月下旬ごろまで楽しめる見込みだそうだ。

(令和4年1月18日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-90

シクラメン 冬の小径散策 浜松

浜松市西区の「浜名湖ガーデンパーク」で、550株ほど植栽された「青いシクラメンの小径」が今年も好評だそうだ。青いシクラメンは3月上旬まで楽しめるとのこと。

河津桜来る春へ 磐田

磐田市中心部の今ノ浦川の岸辺で河津桜が咲き、やがて来る春の穏やかさを感じさせている。桜は地元ボランティア団体が10数年前までに川の両岸に百本を植樹したもので、見頃は二十四節気の小寒から立春までだそうだ。

(令和4年1月17日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-89

ロウバイ見頃 静岡

観梅の名所で知られる静岡市葵区羽鳥の「洞慶院」で12日、ロウバイの花が見頃を迎えた。ロウバイの木は梅園や境内などに60本ほど植えられており、昨年暮れから開花が始まり、日当たりが良い場所では満開となっている。花は2月初旬まで楽しめるそうだ。

(令和4年1月13日 静岡新聞 朝刊)

アロエと菜の花 伊東の海辺飾る

伊東市富戸の「ニューヨークランブミュージアム&フラワーガーデン」で、菜の花とキダチアロエの花が見頃を迎えている。菜の花は、相模湾と伊豆大島を望む岬付近にある約千平方メートルの花壇に約2万株が植えられ、一帯を黄色のじゅうたんのよう覆っている。菜の花は今月下旬、アロエは2月上旬ごろまでが見頃だそうだ。

(令和4年1月13日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-88

磐田 ロウバイ見頃

磐田市三ヶ野の「田原交流センター」の庭で、ロウバイが見頃となった。花は今月下旬ごろまで楽しめるそうだ。

早咲き桜の開花 県ホームページ

静岡県ではホームページで、河津桜など1月中旬から開花する早咲き桜の開花情報の掲載をはじめた。7日現在県内25カ所の名所の内、4ヶ所で開花しているそうだ。

(令和4年1月11日 中日新聞 朝刊)

下田でスイセン見頃

下田市須崎の「爪木崎水仙園」で、群生する約300万本のスイセンが見頃を迎えている。1月中旬まで見頃が続くそうだ。

(令和4年1月10日 静岡新聞 朝刊)

早春告げる「梅まつり」始まる 熱海

熱海市の梅園で8日、「梅まつり」が始まった。早咲き梅「冬至梅」をはじめ、園内に植樹された469本の梅が順次開花し、紅白の花々が春を彩っている。今季の「冬至梅」は過去10年で開花が最も早く、昨年10月下旬に開花が確認された。園内には既に三分咲きの木もあるが、全体の見頃は1月下旬ごろだそうだ。

(令和4年1月9日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-87

下田で水仙まつり

下田市須崎の爪木崎にある群生地でスイセンが続々と咲き始めている。現在は三分咲きだが、来年の1月中旬が見頃の見込みで、最盛期には約300万本が咲き誇り、一帯を白い花のじゅうたんが埋め尽くすそうだ。

(令和3年12月26日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-86

「あたま桜」開花 熱海市

熱海市銀座町の糸川遊歩道で、早咲きで知られる「あたま桜」の開花が始まった。20日に遊歩道に植えられている基準木に花が咲いているのを市公園緑地課の職員が確認した。例年より11日遅い開花で、見頃は1月下旬から2月上旬の見込みだそうだ。「第12回あたま桜糸川桜まつり」は1月8日～2月6日まで開かれる。

「土肥桜」も確認 伊豆市

伊豆観光協会土肥支所は23日、早咲きで知られる「土肥桜」が土肥の万福寺で開花したと発表した。昨年より9日遅い開花だがほぼ平年並みで、万福寺のほか土肥神社、土肥山川の堤防沿い、松原公園、恋人岬などでも開花が始まっている。1月20日から2月6日まで松原公園芝生広場で土肥桜まつりが開かれるそうだ。

(令和3年12月24日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-85

水仙まつり開幕 下田

下田市須崎の爪木崎水仙園で20日、「第56回伊豆下田水仙まつり」が開幕した。市観光局によると、約300万本が群生する会場のスイセンは例年並みの三分咲きで、来年1月上旬の見頃を迎える見込みだそうだ。

(令和3年12月21日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-84

ヤシの木にこも掛け 石廊崎

南伊豆町石廊崎周辺の県道で3日、道路沿いに植えられたココスヤシのこも掛け作業が行われた。県道沿いの約2キロに植えられている300本のココスヤシのうち、特に風の強い場所にある47本がこも掛けされた。こもを外すのは来年3月頃行う予定だそうだ。

(令和3年12月6日 静岡新聞 朝刊)

ドウダンツツジ見頃 浜松

浜松市北区の真言宗寺院「長楽寺」では、庭園の約200株のドウダンツツジの紅葉が見頃を迎えている。長楽寺の庭園「満天星の庭」は、江戸時代の茶人小堀遠州作と伝わり、「龍潭寺庭園」、「本興治庭園」と並ぶ遠州三名園の一つとされているそうだ。

(令和3年12月6日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-83

アロエに朱色の花 下田

下田市白羽の「板戸海岸」の海岸沿いの遊歩道約500メートルに群生するキダチアロエが朱色の花を咲かせている。花は12月上旬から中旬にかけて満開となる見込みで、来年1月10日まで「アロエの花まつり」も開かれている。

(令和3年11月30日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-82

色付く大イチョウ 静岡

静岡市葵区黒俣の県天然記念物「黒俣の大イチョウ」が見頃を迎えている。樹齢は約5,6百年とも言い伝えられており、高さ20メートルの巨木が豪快に色づいている。見頃は12月始めごろまでの見込みだそうだ。

(令和3年11月26日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-81

紅葉見頃 森

「森の石松」の墓があることで知られる森町橋の「大洞院」で、紅葉が見頃となった。境内には約300本のモミジが植えられ、このところの朝晩の冷え込みで色付きが進みほぼ例年通りに見頃を迎えた。28日までライトアップを行うそうだ。

イチョウを黄色に 菊川

菊川市中内田のギンナンを生産するために350本ほど植えられたイチョウ畑が黄色に色づいている。現在は緑色の葉も少し残っており、最盛期はもう少し先とのこと。

(令和3年11月23日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-80

紅葉見頃 熱海

熱海市相原町の「市村清新技術財団・植物研究園」で22日、紅葉を楽しめる秋の一般公開が始まった。約1万2千平方メートルの敷地に約百種類の樹木と約二百種の草花が植えられており、28日まで一般公開が行われるそうだ。

(令和3年11月22日 中日新聞 朝刊)

ほころぶヒマラヤザクラ 熱海

ネパールから贈られた種子から育ったヒマラヤザクラが熱海市内で開花し始めた。熱海高校近くなど市内に約50本あり、12月初旬ごろが見頃の見込みだそうだ。

(令和3年11月20日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-79

3色に変化する花々が見頃 下田

下田市の「寝姿山自然公園」で、花の色が3色に変化するリトルエンジェルが見頃を迎えている。ノボタンの一種で、紫からピンク、赤紫へと花の色が変化することから「サンショクノボタン」とも呼ばれている。公園には下田ロープウェイで行け、山頂付近の遊歩道には約800株が植えられている。花は12月上旬ごろまで楽しめるそうだ。

(令和3年11月17日 静岡新聞 朝刊)

ツワブキ見頃 浜松

晩秋に黄色の花を咲かせるツワブキが、浜松市西区の「はままつフラワーパーク」で見頃を迎えている。キク科の常緑多年草で、花の大きさは直径5センチほど、今月末ごろまで花が見られるそうだ。

(令和3年11月17日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-78

熱海 もみじまつり

熱海市梅園町の「熱海梅園」で13日、もみじまつりが始まった。「日本で最も遅い紅葉」をうたい、園内にある380本のカエデ類が例年は11月下旬から12月にかけて見頃を迎える。園内では早咲きの梅が咲き始めており、紅葉と梅の競演を楽しめるそうだ。

(令和3年11月13日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-77

花壇づくりコンクール表彰式 富士宮

富士宮市緑化推進市民の会は「第31回花壇づくりコンクール表彰式」を市役所で開催し、最優秀賞や優秀賞の団体個人に表彰状を贈った。

(令和3年11月11日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-76

色とりどり「ざる菊」 富士宮

富士宮市内房の遊休農地で秋を彩る「ざる菊(クッションマム)」が見頃を迎えている。5月ごろ地元の複数の団体が遊休農地に1200株移植したそう。見頃は11月中旬ごろまでのこと。

(令和3年11月5日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-75

秋バラ鮮やか 長泉

長泉町東野の「ヴァンジ彫刻庭園美術館」で秋バラが見頃を迎えている。庭園には約70品種160株が咲き誇っており、訪れた人が花を眺めながら散策を楽しんでいるそう。

(令和3年11月3日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-74

三島 楽寿園の菊まつり

三島市の「楽寿園」で30日、菊まつりが開幕した。今年のテーマは国家の安寧を願って建立された「東大寺」で、6千鉢を超える菊を飾り付けた迫力のある盆栽が広がっている。11月10日ごろが最も見頃となる見通しだそう。菊まつりは30日まで開かれている。

(令和3年10月31日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-73

華やか丹精のコスモス見頃 袋井

袋井市方丈の原野谷川河川敷にある「メロン公園」東側で、ピンクや白色のコスモスの花が見頃を迎えている。地元有志の会が10年ほど前から植えており、秋の風物誌として地域に定着してきている。花は11月中旬ごろまで楽しめるそう。

(令和3年10月29日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-72

「冬至梅」早くも開花 熱海

熱海市は26日、早咲きの梅の名所として知られる同市の「熱海梅園」で2021年度の初開花が確認されたと発表した。市公園緑地課によると、例年11月上旬から下旬にかけて初開花が確認されているが、今回の開花は過去10年間で最も早いそう。

(令和3年10月27日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-71

淡いピンクや白色 心癒やすコスモス 袋井

袋井市浅岡の複合施設「どんどこあさば」北側などの畑で地元住民らが植えたコスモスが見頃を迎え、濃い赤や淡いピンク、白色の花が秋の風に揺れている。施設北側の約1200平方メートルの畑には、高さ50～80センチほどに伸びたコスモスが一面に咲いており、花は月末頃まで楽しめるそうだ。

(令和3年10月23日 中日新聞 朝刊)

秋バラ見頃 河津

河津町峰の町営バラ園「河津バガテル公園」で、秋バラが見頃を迎えている。約3万平方メートルのフランス式庭園には、約1100種、6千株が植栽されている。今年は台風の影響もなく、例年どおりに開花が進んでおり、11月中旬まで色とりどりの花々を楽しむことができるそうだ。

(令和3年10月22日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-70

浜名湖ガーデンパーク コスモス見頃

浜松市西区村櫛町の「浜名湖ガーデンパーク」で、約40万本のコスモスが見頃を迎えた。コスモスの植わっているのは園内の「花ひろば」の約3000平方メートルで、今年は残暑の影響が心配されたが、今月に入り開花が進み、例年どおりに今週末には咲きそろそろ見込みとなったそうだ。

(令和3年10月16日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-69

イワシャジン見頃 葵区・梅ヶ島地区

静岡市葵区梅ヶ島地区で山野草の「イワシャジン」が開花し、観光客を喜ばせている。長く伸びた茎に紫色の小さな釣り鐘型の花をいくつも付ける「イワシャジン」はキキョウ科の多年草で、関東地方南西部や中部支部南東部の岩場で自生する。梅ヶ島温泉街の数カ所で花がみられるそうだ。

(令和3年10月13日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-68

スキの高原 風立ちぬ 東伊豆

東伊豆町稲取の細野高原で8日、「秋のすすきイベント」が開幕した。東京ドーム26個分、125万平方メートルのスキの大草原が広がる。今年は例年より早く穂が咲き始め、見頃を迎えている場所もある。イベントは11月5日まで行われる予定だそうだ。

(令和3年10月10日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-67

サクラダテ甘い香り 静岡市葵区

静岡市葵区の「麻機遊水地」の第4工区で、サクラダテが薄いピンク色の花を咲かせている。サクラダテは湿地に生える多年草で、同遊水地では9月ごろから5～6ミリ程度の花を咲かせる。花は10月下旬ごろまで楽しめるそうだ。

(令和3年10月8日 静岡新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-66

ガーデンパーク再開 浜松

休園中だった浜松市西区の「浜名湖ガーデンパーク」が、新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除に伴い再開し、「オータムフェスタ2021」として来場者を迎えている。フェスタは来月7日までで、期間中パーク内では40万本のコスモス畑が楽しめるそうだ。

(令和3年10月7日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-65

秋風に揺れ コスモス見頃 裾野

裾野市須山の「パノラマ遊花の里」でコスモスの花が見頃を迎えている。コスモス畑は約2万平方メートルあるが、今年は天候などの影響で見頃は例年より2週間ほど遅く、花の数も少ないそうだ。

(令和3年10月6日 静岡新聞 朝刊)

鮮やか酔芙蓉 牧之原

一日のうちに花の色が白から赤に変わる「スイフヨウ」の花が、牧之原市片浜の国指定重要文化財「大鐘家」の庭園で見頃を迎えている。今年の開花は例年どおりで、花は今月末まで楽しめるそうだ。

(令和3年10月6日 中日新聞 朝刊)

緑や樹木に関する記事 21-64

在来ソバの花満開 静岡

静岡市葵区の大川地区で、地元で古くから栽培されている在来種のソバの花が見頃になった。2日、地元の会が管理する同地区坂ノ上の畑はソバの花が満開になり、白いじゅうたんを敷き詰めたような光景が広がった。

(令和3年10月3日 静岡新聞 朝刊)

秋の花咲き乱れ 浜松

浜松市西区の「浜名湖ガーデンパーク」で1日、季節の花々や多彩な催しが楽しめる「オータムフェスタ2021」が始まった。園内にはコウテイダリアやケイトウ、コルチカムなどの花が咲き乱れており、10月中旬には園内の「花ひろば」で40万本のコスモスが見頃となるそうだ。

(令和3年10月2日 静岡新聞 朝刊)